

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	初等教育のためのICT活用2（ICT_2 for Primary education）		
ナンバリングコード	P22002	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 標準レベル 教育
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修:こども・情報教育コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P181351	クラス名	-
担当教員名	清田 雄二		
履修上の注意、 履修条件	こども情報教育コース 履修生は必修。2回の模擬講義は必須。履修制限:20名。残席があれば、教職履修生や他コース学生の履修も可。情報リテラシー1・2 単位修得済。 課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。学内外で実施される講習会のサポートなどへの取り組みを推奨します。学生による自主的な勉強会の実施を推奨します。他は備考欄を参照ください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	eラーニング白書。コンピュータを使わない情報教育アンブラグドコンピュータサイエンス。 わかる・なれる ICT支援員: すすめよう!学校のICT活用。インストラクショナルデザインの原理		
関連科目	初等教育のためのICT活用1、教職系科目、情報リテラシー1、情報リテラシー2、コンテンツ企画論、デジタルコンテンツ論、コンテンツ制作系科目		

○基本情報		
授業の目的	初等教育におけるICTを活用した教育に関する知識と技能について演習形式で学習します。	
	小学校にてICTを活用した教育において必要な実践能力について学習します。	
授業の概要	初等教育におけるICTを活用した教育について、必要な知識と技能について、体系的に学びます。特に授業実践を2種類とりくみ、この取り組みから、授業設計、教材設計と制作・授業準備を行います。また教員役、支援員役、生徒役を担当し、各役割の体験から、様々な視点で、授業設計や実施、準備資料について、再確認し、自身の取り組みに活かします。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ : 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ICTを活用した教育実践に向けた関心		5点	5点
【知識・理解】	ICTを活用した授業設計や教材設計に必要な知識と技術		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	ICTを活用した、教材制作能力		20点	15点
【思考・判断・創造】	授業設計と教材設計		20点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
レポートの提出、レポートの記載内容。手書き文字の可読性 課題やワークへの取り組み	
フィードバック方法 ・課題:LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説 ・試験:すべての試験結果は翌週以降に返却する	

○その他	
第5週～第8週と、第12週～第15週の役割は、グループ内のスケジュールで担当回が変わります。学内外で開催される講座に支援員役として担当する場合もあります。県内で開催される公開授業へ、授業見学に行く場合もあります。	
出席登録は授業開始最初の5分、遅刻登録は授業開始最初の10分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業をしなさい。登録無き場合、欠席と記録します。 教員が指定するWebシステムやサーバを用いた演習を行います。	
第1回授業時に受講場所を申請していただきます。申請場所以外での受講は受講と認めません。 受講場所を変更する場合は、前受講回時に相談をすること。 出席状況・課題提出状況が芳しく無い場合、受講場所を学内に変更するよう指示します。 授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。	
課題への評価は、翌授業回の朝に行います。 課題の評価が低い場合、点数が付いていない場合、必ず再度取り組み、再提出しなさい。 課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。 スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しなさい。 課題などへの取り組みは、友人などと相談して取り組むこと可能です。ただし、必ず自分一人で、資料などを見ずに問題解決できる能力を修得してください。(試験などは各個人での取り組みです)	
授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。 授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。(授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。) 課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。 他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。 著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。 後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。	
技術的な進化がめまぐるしい分野です。各自で日々、この分野に対するニュースや最新技術、コンテンツに触れる取り組みをしなさい。	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	初等教育のためのICT活用2（ICT_2 for Primary education） 清田 雄二	授業コード	P181351
学修内容					
1. オリエンテーション オリエンテーションにおいて、今期の取り組みについて解説します。					
予習	前期の取り組みについて見直しておいてください。				約2時間
復習	課された課題について取り組みなさい。				約2時間
2. インストラクショナルデザイン入門(1/2) 授業や教材設計について学習します。					
予習	教材設計手法について各自で調べておきなさい。				約2時間
復習	授業で解説されたことについて、まとめておきなさい。				約2時間
3. インストラクショナルデザイン入門(2/2) 授業や教材設計について学習します。					
予習	前回、解説されなかった部分について、各自で書籍などを用いて調べておきなさい。				約2時間
復習	授業で解説されたことについて、まとめておきなさい。				約2時間
4. 授業実践演習_事例利用(1/6)_準備 公開されている授業方法を実践します。各自で選択して、インストラクショナルデザインの手法を用いて、授業の準備を行いなさい。					
予習	実施したい授業について考えておきなさい。				約2時間
復習	事例の中で選択した授業手法に対し、理解を深めておいてください。				約2時間
5. 授業実践演習_事例利用(2/6) 模擬授業に向け、準備に取り組みます。					
予習	授業企画書への取り組み				約2時間
復習	課題分析シートへの取り組み				約2時間
6. 授業実践演習_事例利用(3/6) 模擬授業に向け、準備に取り組みます。					
予習	学習指導案への取り組み				約2時間
復習	学習指導案の仕上げ				約2時間
7. 授業実践演習_事例利用(4/6) 模擬授業に向け、準備に取り組みます。模擬授業前には、必ず予定された教室・機材を用いてリハーサルに取り組みなさい。					
予習	評価計画への取り組み				約2時間
復習	評価計画の仕上げ				約2時間
8. 授業実践演習_事例利用(5/6) 他学習者の模擬授業への参加を行います。生徒役の視点から、授業改善や、授業手法について学びます。					
予習	模擬授業に向けた準備				約2時間
復習	他学習者の模擬授業を振り返り、各自の取り組みの不足点について、取り組む。				約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	初等教育のためのICT活用2（ICT_2 for Primary education） 清田 雄二	授業コード	P181351
学修内容					
9. 授業実践演習_事例利用(6/6) 他学習者の模擬授業への参加を行います。生徒役の視点から、授業改善や、授業手法について学びます。また模擬授業担当として、十分に準備し、授業実践します。					
予習		模擬授業の準備。教材の用意			約2時間
復習		模擬授業の実践結果から、各自の取り組みについて振り返る			約2時間
10. 授業実践演習_企画から実践(1/6)_準備と制作 今回は企画立案から授業実践まで各自で行っていただきます。インストラクショナルデザインの手法を用いて、授業の準備を行いなさい。					
予習		実施したい授業について考えておきなさい。			約2時間
復習		授業手法に対し、理解を深めておいてください。			約2時間
11. 授業実践演習_企画から実践(2/6)_教材用意 模擬授業に向け、準備に取り組みます。					
予習		授業企画書への取り組み			約2時間
復習		課題分析シートへの取り組み			約2時間
12. 授業実践演習_企画から実践(3/6) 模擬授業に向け、準備に取り組みます。					
予習		学習指導案への取り組み			約2時間
復習		学習指導案の仕上げ			約2時間
13. 授業実践演習_企画から実践(4/6) 模擬授業に向け、準備に取り組みます。模擬授業前には、必ず予定された教室・機材を用いてリハーサルに取り組みなさい。					
予習		評価計画への取り組み			約2時間
復習		評価計画の仕上げ			約2時間
14. 授業実践演習_企画から実践(5/6) 他学習者の模擬授業への参加を行います。生徒役の視点から、授業改善や、授業手法について学びます。					
予習		模擬授業に向けた準備			約2時間
復習		他学習者の模擬授業を振り返り、各自の取り組みの不足点について、取り組む。			約2時間
15. 授業実践演習_企画から実践(6/6) 他学習者の模擬授業への参加を行います。生徒役の視点から、授業改善や、授業手法について学びます。また模擬授業担当として、十分に準備し、授業実践します。					
予習		模擬授業の準備。教材の用意			約2時間
復習		模擬授業の実践結果から、各自の取り組みについて振り返る			約2時間
16.					
予習					
復習					